

国保の都道府県単位化

長野県 12 月末 仮係数にもとづく試算表 (第 4 回) 公表

松本市・一般会計からの繰入無なら更なる引き上げの危険

H30年度事業納付金試算(一人当)			
激変緩和前		激変緩和後	
H28納付金額① (医療費推計)	H30納付金額②	H30納付金額③	単年度伸び率 ③/①を単年度換算
124,542	127,513	126,127	101.3%
H28年度保険料賦課額とH30年度標準保険料試算(一人当)			
H28年度	H30年度		参考
H28保険料額① 法定外繰入後 保険料軽減後	H30保険料額② 激変緩和後 法定外繰入前 保険料軽減後	単年度伸び率 (②/①を単年度換算)	備考H28決算補 填等の目的で法 定外繰入した金額
121,700	128,260	102.7%	6億8400円

長野県は、本年4月から実施される国保の都道府県化に向け、12月末厚労省が示した仮係数にもとづき事業納付金と標準保険料の試算(第4回目)を公表しました。それによると松本市は、左表のように国と県が実施する激変緩和後でも県に納める事業納付金が増え、県が参考として示す標準保険料も増えることになります。

松本市の保険料(税)は現在でも19市でも最高額ですが、その金額を更に引き上げざるを得ない内容です。それを回避するた

めには、H28年度とH29年度実施した一般会計からの法定外の繰入を来年度も実施するしかありません。「県下19市中一番高い国保税を下げよ」「そのためにも一般会計からの法定外繰入を来年度以降も実施せよ」の世論を盛り上げ、現在取り組まれている市長への要請署名運動を成功させましょう。

尚、県は、本係数にもとづく算出した次年度の国保事業納付金、標準保険料は2月上旬の公表予定。それを受けて松本市は、来年度の国保税を算定し、条例改正案を議会に提案する予定です。

市長への要望署名の到達(1/20現在)1300筆余

2/7×切目指し、各団体最大限のとりくみを!

松本市への要望書提出2/9(金)午前10時予定



1月22日開催した松本地区社保協の幹事会では、上記の県の動きや国保料等の試算状況を分析しながら、この間取り組んでいる市長への要望署名運動の到達を確認しました。

この間各団体とも年末年始の困難な状況の中でも精力的に活動を展開してきました。生健会では、役員等を中心に、市内の団地周り(寿台団地、島内市住団地、島内小宮団地等)を展開してきました。民医連の病院等では、先号でも紹介した友の会員等の訪問活動(左写真)や職場単

位のとりくみを展開。健康友の会では、12月実施した学習交流会の中で「なぜ高い松本市の国保税」について学び、各地域の支部ごとに取り組みを展開してきました。民商では、役員会でとりくみの強化を確認し、税金の申告作業をと合わせ取り組みを展開しています。新婦人、地区労連、年金者組合、ちごちごの会等でも会員、組合員を中心に活動を展開しています。

尚、市長への要望書提出(署名提出)と若干の懇談を来る2月9日(金)午前10時を予定しています。当日は健康福祉部長が対応予定です。この日を目指し、各団体とも最終盤にふさわしい取り組みをお願いします。

長野県社保協第23回総会に参加を!

2018年2月17日(土)10時~15時、(長野市)長野県教育会館3階ホール
 午前:定時総会、午後:記念講演(講師:唐鎌直義氏)